



1年で一番爽やかな月であったはずの10月でしたが、残暑のように暑い日が続いたかと思うと肌寒い日が続いたり、正しい季節の感覚がずれてきそうです。地球の自然環境が確かに今までとは違ってきていると年々強く感じます。そんな中だからこそ、幼稚園では季節感を大事にして日々の活動をしています。

さて、10月もたくさん行事がありました。運動会、遠足、緊急事態宣言で延期になった交通安全教室、サツマイモ掘り、日々の生活の中で鳩山という自然豊かな中だからこそ感じるられる、季節を満喫する活動することが出来ました。交通安全教室で来てくださった指導員の皆さんも、幼稚園のことを良い環境のところにありますね。と褒めてくださいました。



運動会を終えて思うこと

パラバルーン思い出



「ン・パカマーチ」踊ったね



鳩山幼稚園長 岡部 玲子

10月9日(土)に運動会が実施されました。朝、実施の判定をする時間には全く雨は降っておらず、延期をするという考えは全くありませんでしたが、幼稚園につくと雨が降った跡があり驚きました。さらに開会式の途中から雨が降ってきてしまい、子供たちはテントで待機となってしまいました。本当に悩ましい天候で、何度も判断を迫られました。10時までに天候が落ち着かなければ、子供たちの安全を考え延期としました。すると思いが届いたのか10時になると雨が止み、演技・競技が再開されました。予備日も雨でしたので実施できて本当によかったです。

さて、この日を迎えるまで演技も競技も何度も何度も練習をしてきました。競技では思うようにいかない悔しくて泣いたり怒ったり、なかなか気持ちが乗らず練習に参加しなかったり、おしゃべりをしてしまったり、などなどいろいろなことがありました。その都度、出来たことは褒めつつも、何度も何度も話して聞かせ繰り返し繰り返し練習をしてきました。私からもさらに良くなるよう意見を述べると、次の練習時には具現化できるような手立てが講じてあり、子供たちの揃った演技につながりました。周りの職員も出来る限りのバックアップはしますが、基本的には担任が指導の中心です。特に年長の組み立て表現の練習では運動会が近づいてくるにつけ、担任の真剣勝負の様子が伝わってきましたし、子供たちもそれに応えようとする様子がありました。

わずか5歳の子供たちであっても一つのを創り上げていくためには、その前に乗り越えなければならぬことがあることを感じたのではないかと思います。そして、そのがんばっている姿を見て、4歳児クラスのさくら組の子供たちにとっての、あこがれの“にじ組”となれるのだと感じました。



*にじ組に練習を見て、さくら組の子供たちが部屋のカバーを持ってきて、一緒にパラバルーンの真似をしてラングダで演技をしていました。運動会が終わった後はホールで一緒に本物のパラバルーンで遊んでいました。



最後に、雨が降っている中、傘をさして再開をじっと待っていてくれた保護者の皆様、お休みの日だったにもかかわらず、最初から最後まで運動会を見てくださり応援してくださった関口教育長様、また、途中からは二人の指導主事の先生まで来てくださいました。本当にありがとうございました。

ビデオに教育長さんの全力応援の声がたくさん入っていました。職員一同大変嬉しく思っています。

活動の流れ <11月>

*運動会・遠足が終わり自転車練習が始まりました。子供たちの様子はHPの園生活に載せています。

時期	さくら組	にじ組
11月上旬	<ul style="list-style-type: none"> 木の実・葉を使って遊ぶ。 にじ組のお店屋さんごっこで、お金を作って買い物をする。 	<ul style="list-style-type: none"> お店屋さんごっこの話し合いをして、製作準備する。 さくら組を招いてお店屋さんごっこをする。
中旬	<ul style="list-style-type: none"> 図書館に行って絵本を借りる。 山村短期大学を訪問する お楽しみ会について話を聞きながらオペレッタや歌の準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ヒヤシンスの水栽培をする 図書館に行って絵本を借りる。 山村短期大学を訪問する お楽しみ会の劇について話し合い、準備をする
下旬	<ul style="list-style-type: none"> 折り紙でサンタクロースを折る。 <お楽しみ会に向けて> お話の役になって遊び、歌を歌う。 オペレッタのダンスをみんなと一緒に踊ったり、役に分かれて踊ったりする。 オペレッタや歌に必要な物を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> 折り紙でサンタクロースを折る。 <お楽しみ会に向けて(劇)> お楽しみ会での出し物を話し合う。 劇の役割分担を話しあって決めて練習する。 お楽しみ会に向けて大道具や小道具等必要な物を作る。

<ピジョッコファーム通信> 実りの秋・・・サツマイモ掘り 黒大豆の枝豆



5月26日にサツマイモの苗を植え、10月26日、順調に育ったサツマイモの収穫をしました。当日は明け方までの雨で予定通り実施できるか心配されましたが、マルチをしていたこともあって何とか収穫できました。イモの品種がベニアズマなのでホクホク系で大きくなるとはいえ、本当に大きいものがありました。昨年よりも豊作だったように思います。また、宇宙由来の黒大豆も枝豆で食べ頃になりました。27日には畑からとって来た枝から莢を外し、よく茹でてみんなで食べました。とりたては美味しいです。
*栽培物の苗や種、肥料、プランター、土など栽培にかかる費用については、ほぼ全て助成金の制度を活用しています。公立の幼稚園なので小中学校と同様に申請をし、受けることが出来ました。そのため、3学期には栽培活動の成果について報告書を作成します。
ラデッシュやヒマワリの栽培にご協力いただいたように、今後もまた保護者の皆様にご協力をいただくことがあると思いますが、よろしくをお願いします。

<11月は読書月間です>

今年度も保護者の皆様には、読書ノートへのご協力ありがとうございます。本の貸出については幼稚園の本以外に毎学期毎、図書館から50冊貸し出してもらっています。11月には図書館も訪問します。今後も親子で読書に取り組んでいただき、同じ時間を共有してもらえると嬉しいです。同じお話を読んで親子で感想を話すことが出来たら素敵ですね。

感想欄に時々、「私が子供のとき読んだ本を我が子が借りてきた」という旨の内容が書かれていることがありました。時には子供が借りてきた本ばかりではなく、お家の人の子供の時に読んだ本(読んでもらった本)を、我が子に読んであげるのも良いですね。(子供の反応は様々かと思いますが、それもまた楽しい。)



<10月>ピジョっこフォト

がんばったね。運動会



聖火台に点火!



さくら組ダンス「ン・パカマーチ」



にじ組組み立て表現
『ダイナマイト』



今年はパラバルーンに挑戦



技名「メリーゴーランド」



花火↑



大成功!



さくら組

トンネルかけっこ



にじ組
リレー



親子でダンス

ジャングルぐるぐる



フィナーレ

ご褒美メダル

遠足

何回行っても動物園は大好き!



良い天気になりました



コアラに夢中



カピバラ 大きい!



コバトンの遊具で遊びました



キリンと一緒に



お昼は園で一緒に食べました



ひよこ組(未就園児保育体験)に園の子供たちが一緒に遊んだりプレゼントをあげたり、楽しく過ごしました。



一緒にジャングルぐるぐる



「トリック オア トリート」

夢中で聞いています



トリック オア トリート!

<第2弾>
ここはどこ
でしょう?

10月号「ここはどこでしょう」
<クイズ解答>
中央公民館東側【東屋】
わかりましたか?



答えは来月号

*お願い 刊行物等で園児の写真を掲載させていただくことがあります。また、10月よりHPにも載せています。「園の活動」もありますのでご覧ください。

ピジョっこ学級通信 11月号



たくさんあそぼう！
さくらぐみだより



「にじ組みたいにしたいから」



2学期に入り、お弁当の時間に牛乳を運ぶお当番活動を始めました。1ヶ月ほどが経ち、A君が「お当番の歌を歌って」と私に言ってきました。「いいよ。どうしてそう思ったの？」と聞いてみると、「大きい組みたいにしたいから」と少し照れた様子で教えてくれました。「お当番さん、お当番さん、前出てください♪～」とピアノに合わせ、お当番さんが前に出てきました。少し照れながらも、にじ組さんのように言えることが嬉しい様子で大きな声で初めての「いただきます」の挨拶をみんなの前ですることができました。



運動会を目前にしたこの時期、さくら組のみんなは、運動会に向けて、クラスのみんなで力を合わせて頑張るにじ組の姿を間近で見えてきました。「ダイナマイト」の曲が始めると、「始まった！」と遊び途中の手を止め、テラスに出て行き、音楽に合わせてにじ組の演技を見よう見まねで一生懸命に取り組んでいました。運動会の活動を通してにじ組への憧れが芽生え、自分たちもにじ組さんのようにやってみたいという姿が、A君の「大きい組みたいにしたい」という気持ちへと繋がっていったのだと思います。今では、出席の報告を職員室の先生に伝えることにも挑戦し、少しずつお当番活動の内容も増え、「今日のお当番は誰？」と子供たちから自分が当番になる日を楽しみする声がよく聞こえ、一生懸命に取り組んでいます。

にじいろ

「これならおれにもできるから！」



お店屋さんごっこの品物を作っているときの事です。「やってみたいけど、難しそうだな。」とA君。すると、Bちゃんが「A君、私が途中までやってあげるから続きをやってみて。」と言いながら、ハサミで牛乳パックを切って、ストラップの飾りになる部分を作り手渡しました。A君は「ありがとう。」と受け取り、嬉しそうに切ってもらった物に飾り付けを始めました。しばらくして私が側に行くと「先生！これなら（飾り付け）おれにもできるから、こんなに作っちゃったよ。」と嬉しそうに教えてくれたA君。その嬉しそうなA君の表情を見て私も嬉しくなりましたが、Bちゃんも隣でっこり！とっても満足気な笑顔でした。



お店屋さんごっこに向けて、「宝石が作りたい！」「剣が作りたい！」など、やる気満々のにじ組のみんなですが、「こうしたいな」とイメージを膨らませて作りたい気持ちと、それを実現して形にする事の難しさに葛藤する姿が、製作を進める中で見られます。さくら組の時は「先生、やって。」「できない。」と教師を頼ってくるが多かったのですが、最近では、Bちゃんのように友達を手助けしようとしたり、「一緒にやってみよう！」と協力しようとしたりする姿が少しずつ見られるようになってきていて、友達とのやり取りの中で出来ることも増えてきました。Bちゃんに手助けしてもらったA君は、ストラップ作りができて本当に嬉しそうでした。友達同士、助けたり、助けてもらったり、そんな機会がこれからも増えていくように取り組んでいきたいと思います。